

令和7年版農作業標準料金

(一社) 福井県農業会議

1. 稲作

単位：円/10a

作業区分		令和7年版 標準料金	(参考) 前年	備 考
1. 耕起・代かき		15,400	15,200	耕起(1回)、代かき作業(2回)
2. 育苗		15,400 770	15,100	硬化苗18箱使用と仮定。運搬費は含まない 1箱当たり
3. 田植		8,900	8,600	苗代および肥料代は含まない
4. 収穫		16,500	16,200	生産物の運搬費は含まない
5. 乾燥 調製	乾 燥	9,600 (1,129円/60kg)	9,500	(1)10a当たり収量 生粳700kg(玄米510kg)と仮定 (2)粳水分24%と仮定
	もみ摺	3,400 (400円/60kg)	3,300	
	色彩選別	2,900 (341円/60kg)	2,900	色彩選別は粳摺りと一連の作業と仮定 したため、人件費は除いた
計	(色彩選別を含まない)	69,200	67,900	
	(色彩選別を含む)	72,100	70,800	

作業区分		令和7年版 標準料金	(参考) 前年	備 考
直 播	種 子 (コーティング代含む)	6,700	6,600	播種量は10a当たり2.5kg (乾粳:コシカ)
	湛 水 直 播	6,500	6,400	

作業区分		令和7年版 標準料金	(参考) 前年	備 考
参 考	畦 塗 り (100m当たり)	4,200	4,100	畦の長さ(30a 圃場)は160m(100+30×2) と仮定
	土壌改良材散布 (10a当たり)	1,200	1,200	ブロードキャスターの場合 土壌改良材代および、その運搬費は含まない
	畦畔草刈り (100m当たり)	4,000	3,800	・30a当たりの畔面積は3aと仮定 ・畦の長さ(30a 圃場)は160m(100+30×2) と仮定 ・圃場は30a区画(30m×100m)で、畔面積 は、3a(長さ160m×幅1.9m)を想定 ・草刈り作業は、田植え前から収穫前 の間に4回行うと仮定 ・担い手農家(借り手)から、貸し手(地 主)へ再委託する場合等の料金
	除草剤散布・防除 作業(ドローン)	1,200	1,100	オペレーター1人、補助員1人 計2人 粒剤散布1回、液剤散布2回として試算 薬剤費は含まない
	防 除 背負式動力散布	700	680	1回防除(農薬代は含まない) オペレーター1人、補助員1人 計2人

2. 麦・大豆作

単位：円/10a

作業区分	麦		大豆		備考
	令和7年版 標準料金	(参考) 前年	令和7年版 標準料金	(参考) 前年	
1. 耕起・播種	7,300	7,100	6,500	6,300	耕起と播種は同時作業とした 播種はシーダーとした
2. 収穫	12,200	11,900	12,900	12,700	生産物の運搬費は含まない 麦は自脱型コンバイン、大豆については専用コンバインとした
3. 溝掘り	4,100 (13円/m)	4,100 (13円/m)	4,100 (13円/m)	4,100 (13円/m)	大豆は単作に適用 ロータリートラクターとした 30a 区画圃場を想定して、10aあたりに直して試算
4. 培土	—	—	3,900	3,900	
計	23,600	23,100	27,400	27,000	

<参考>

作業区分	麦		大豆		備考
	令和7年版 標準料金	(参考) 前年	令和7年版 標準料金	(参考) 前年	
参考 防除 背負式動力	700	680	700	680	1回防除（農薬代は含まない） オペレーター1人、補助員1人 計2人

作業区分	令和7年版 標準料金	(参考) 前年	備考
参考 弾丸暗渠 (10aあたり)	1,200	1,200	サブソイラの場合 30a 圃場で30mを33本、100mを4本と仮定

3. (参考) ソバ作

単位：円/10a

作業区分	ソバ			備考
	令和7年版 標準料金	試算値	(参考) 前年	
1. 耕起・播種	耕起・播種	7,200	7,233	耕起と播種は同時作業とした 播種はシーダーとした 麦跡の耕起は含まない
	耕起		5,052	
	播種		2,182	
2. 収穫	9,200	9,157	9,000	生産物の運搬費は含まない コンバインは大豆と併用とした
3. 溝掘り	4,100	4,119	4,100	ロータリートラクターとした 30a 圃場を想定して、10aあたりに換算して試算した
	(mあたり)	13	13	
計	20,500	20,508	20,100	

4. 留意事項

(1) 圃場条件に応じた標準料金の適用

当指針は、県下一円においておおむね30a程度の圃場整備がなされているということを踏まえて標準料金を示している。

しかし、中山間地等を中心として、未整備田等小区画圃場が依然残されており、作業効率等の面において大きな問題となっている。

こうしたことから、圃場条件（面積、形状、土質、倒伏等）に応じた標準料金を下記により示すこととする。

圃場条件	標準料金指針
おおむね30a以上	標準料金適用
〃 30a未満	標準料金に5～10%加算
〃 20a未満	〃 10～20%加算
〃 10a未満	〃 20～30%加算

(2) 消費税の扱い

外税扱い（消費税を含まない）とした。

(3) 生産物等の運搬費

生産物や苗等の運搬に要する経費は、この料金に含んでいないので留意すること。

(4) 農作業機械の運搬費

農作業機械等の運搬に要する経費は、この料金に含んでいないので、作業委託者と作業受託者の間で十分協議を行うこと。